

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
養護内容		小島 久司	演習	1	前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格必修			
学習目標	児童福祉施設での養護と地域社会との関係を理解し、養護児童及び家族に対しての支援と生活のあり方を学ぶ。また、児童支援に必要な職員準拠枠に必要とされるスーパービジョンシステム、また職員のチーム化に不可欠な姿勢について学ぶ。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	児童養護施設等の現状	児童養護施設をはじめとした児童福祉施設の現状について			
2	入所児童の特殊性	養育環境がパーソナリティに与える影響			
3	施設養護と近接領域との関係	児童相談所、学校、保健所、医療機関等と、そして家庭との連携の過程について			
4	施設での躰と権利擁護	日常生活の流れと児童の生活リズム、遊び（創造）と躰の重要性、施設生活における児童の権利擁護について			
5	入所児童の権利擁護	入所児童の意見を尊重した施設運営及び支援について			
6	施設における記録の実際	記録の意義、事例を通じた記録の方法、ポイントの整理			
7	ケースカンファレンスとケーススタディ	カンファレンスとスタディの比較、児童養護施設における職員チーム化の重要性			
8	生活支援の取り組みと企画のあり方	生活支援（日課等）の意義、入所児童の主体性を尊重した支援のあり方について			
9	養護児童の理解のあり方と施設職員の役割	チームワークとチームケアの概念、福祉施設における職員準拠枠の重要性			
10	家族関係に係わる調整の実際	ファミリーソーシャルワークの実際に関する事例			
11	ケースワークのあり方	多様な機関との連携のもとで児童支援が展開されていることについて			
12	福祉施設でのスーパービジョンの意義	スーパービジョン関係、児童と職員との関係、受容のための前提について			
13	リスクマネジメント	危機管理のあり方・入所児童の安全・安心した生活のあり方			
14	児童養護施設における課題及び社会的養護の現状	児童養護施設における社会的機能及び今日的課題、職員の役割・乳児院や里親の現状について			
15	虐待の予防対策	自治体による要保護児童対策の必要性			
参 考 書	保育・看護・福祉プリマーズ③「養護原理」吉澤英子他編 ミネルヴァ書房 2004				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	児童養護施設の実際について講義・演習をするので、しっかり聴くこと。				
評価の方法と時期	定期試験における論述試験、授業態度などを総合して評価する。				